

建材マンスリー

THE KENZA! monthly



7

No.532

2010



新年のごあいさつ

住友林業株式会社 取締役専務執行役員

木材建材事業本部長 上山 英之 ①

新春特集

業界アンケート 2010年の木・建業界を予測する ②

年頭所感

前原誠司国土交通大臣、赤松広隆農林水産大臣 ⑧

11月の新設住宅着工

19.1%減の6万8,198戸 ⑩





洗練の住まいへ — 不揃いの調和の美が誘う。

New Flooring Collection

Live Natural[®] Extra Wide

ライブナチュラル・エクストラワイド

みずみずしい木味あふれる天然木複合フローリングライブナチュラルに、幅広の「エクストラワイド」が新たにラインナップ。

- 継ぎ目のない1枚貼り銘木突き板。巾145mm×長さ1,818mmの豪華なデザイン。
- 天然木の木目を鮮やかに際立たせる「木味活性化処理」による深みのある質感。
- 一定の範囲内で色柄をばらつかせ不揃いでありながら調和の取れた貼り上がり。

[樹種バリエーション] ブラックチェリー・ハードメイプル・ブラックウォルナット・バーチ

WOODTEC
朝日ウッドテック株式会社
<http://www.woodtec.co.jp/>

本社・ショールーム 大阪市中央区南本町4-5-10
〒541-0054 Tel.06-6245-9238
東京ショールーム 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー6階
〒163-1006 Tel.03-5323-0567

新年のごあいさつ

住友林業株式会社
取締役専務執行役員
木材建材事業本部長

上山 英之



新年あけましておめでとうございます。
平素より「建材マンスリー」を御愛読賜り、真にありがとうございます。また、お取引先の皆様方には旧年中の御愛顧に対しまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のが我が国の経済は、今更申し上げるまでも無く、08年のリーマンショックに端を発する世界不況の影響を引きずった、非常に厳しい一年となりました。雇用・所得不安が日本全体を覆い、7月には完全失業率が過去最悪の5.7%を記録しました。過去最大級の住宅ローン減税制度を始めとする、住宅需要振興に向けた諸施策が打ち出されましたが、新設住宅着工戸数は、ほんの一年程前に懸念されていた“100万戸割れ”を一気に下回り、ほぼ半世紀前の水準である80万戸前後となるに至りました。木材建材市場もまた、このような景気全体の冷え込みと住宅市場の収縮にたいへん大きな影響を受けました。

一方で、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が昨年6月に施行され、いよいよフロー型からストック型構造への転換へと動き始めた年でもありました。また9月には政権交代を経て鳩山新政権が誕生。国連気候変動サミットにおいて「温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減する」という目標が国際社会に向け表明されました。

このような流れの中で迎えた新しい年・2010年、木材建材業界におけるキーワードは、やはり「環境」。特に、昨年末に緊急経済対策として閣議決定された「住宅版エコポイント制度」の創設は、大いに期待されます。戸建て・マンション、リフォーム・新築共に対象で、リフォームについて

は、窓断熱改修や、外壁・屋根・天井・床の断熱工事に加え、バリアフリー改修もポイント対象とされています。詳細未定の部分もありますが、今年、我々木材建材業界への追い風となることは間違いありません。「太陽光発電」「高効率設備機器」の普及、さらには「国産材利用促進」等々、業界として取り組むべき環境テーマは多数あります。“環境はお金にならない”という意識がまだまだ根強いのも現実ですが、そこをどのようにして改革していくか、既成概念にとらわれずに取り組み、新たなビジネスチャンスを創出していくことが、我々木材建材業界が担っていくべき使命ではないかと考えております。

2010年の干支「寅」は、元来「草木が伸び始める状態」を表す語であると言われていています。また、「寅の刻」は、午前3時から5時の“夜明け前”を指します。景気は依然急速な回復は期待できない状況ですが、長い冬を越え、春に芽吹く草木のように、我々木材建材業界が、好転していくターニングポイントの年となるよう、弊社としましても事業に取り組んで参る所存でございます。

「建材マンスリー」も、お陰様で創刊46年目に入ります。今年は、これまで以上に読みやすく、有益なトピックスをタイムリーに発信し、業界の発展に貢献して参りたいと考えております。本年もご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に皆様の本年益々の御発展をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



業界アンケート

2010年の木・建業界を予測する

100年に1度といわれた世界不況を背に迎えた2010(平成22)年。今年の干支は「千里往って千里還る」といわれる寅年ですが、果たしてこの1年どうなるものなのか。木材・建材業界の推移を右の4項目につき業界各位に予測して頂きました。ご協力ありがとうございました。

(掲載50音順)

朝日ウッドテック株式会社

常務取締役 川名 敏夫氏

- (1) ー：横這い。
(2) 海外経済の持ち直しを背景に輸出は緩やかながら増加基調を維持しますが、残念ながら内需回復のシナリオは描けません。政策効果への期待感よりも、むしろデフレ・円高・株安による景気下振れリスクの方が大きく、特に雇用環境の厳しさが続くことが予想されます。景気全体では回復と言える水準には至らないとみています。
- 80万戸。
- 適切に管理された森林からの木材調達や国産材の利用促進はもちろんのこと、企業の活動プロセス全体における環境負荷低減に明確な目標を持って取り組んでいかなければなりません。また人と地球環境に優しい材料である木材を利用することの意義を、今あらためて社会に啓蒙していくことが、業界にとっての役割でもあり、ビジネスチャンスにもつながるのではないのでしょうか。
- ・豪華なデザインで空間グレードを高め

○アンケート質問事項 (21年12月25日現在)

- 2010年の景気(経済展望)をどのように見ておられますか。
(1) [◎:好転 ○:やや回復 ー:横這い △:やや悪化 ×:悪化]
(2) ご回答の理由
- 2010年(暦年)の新設住宅着工数の予想。
- 今後、環境負荷低減に向け取り組んでいく上での木材・建材業界における課題、またビジネスチャンスについて、どのようにお考えか、貴社のご意見をお聞かせください。
- 2010年に期待され重点を置かれる商品を挙げて下さい。

る新シリーズ「ライブナチュラル・エクストラワイド」。

- ・持続可能な木材利用と高い意匠性・機能性を兼ね備えた環境配慮型床材。
- ・国産材を活用した調湿環境配慮型建材「インターフィットウォール 杉・桧」。

旭ファイバーグラス株式会社

常務執行役員 阿部 道夫氏

- (1) ○:やや回復。
(2) 2009年年始の市況は最悪だったが、6月以降若干持ち直し。2010年も、6月以降のペースで推移すると予想する。
- 90万戸。
- 当社は、断熱材メーカーであり、CO₂削減を目指し、次世代省エネ基準普及を目指し、高性能グラスウールのラインナップの充実、販促活動を強化して参ります。

4. ①ノンホルムアルデヒドグラスウール
 アクリア→断熱、健康。
 ②軽量、高意匠屋根材（シングル材）オ
 ークリッジプロ→軽量、耐震。

株式会社井桁藤

代表取締役社長 高山 忠氏

1. (1) ー：横這い。
 (2) 日本の経済情勢は景気が概ね底を打
 ち、景況判断も上昇傾向にあるが、デフ
 レの進行と雇用情勢の悪化等先行き不透
 明な情勢であり、年前半から中盤にかけ
 て、景気は横這い状態が続くと考える。
2. 90万戸。
3. 当社では、環境ビジネスを進めていく上
 で、従来の単に物品を販売していくという
 発想から、環境商品の総合的な取扱を考
 えた提案営業が可能なシステム作りが必要と
 考える。
 その為には専門のスタッフを配置した部
 署の設置が不可欠と考える。
4. 環境対応商品、耐震関連商品。

株式会社INAX

取締役専務執行役員 石原 俊一氏

1. (1) △：やや悪化。
 (2) 世界経済の成長バランスが崩れ、特
 に成長の牽引であった米国経済（消費）
 の不透明さと円高ドル安が引き続き懸念
 されること、また新興国の設備増強等
 による製品デフレ基調と資材インフレ、国
 内企業成長率の低下、政府政策の不透明
 さ、雇用不安・先行き不安からくる消費
 低迷など、引き続き国内経済環境は厳し
 さが続くと思われま。
2. 85万戸弱。
3. ・環境負荷低減のための商品・技術イノ
 ベーションや工法開発（企業努力）。
 ・安心安全＋環境負荷を考慮した工事・

メンテナンスサービス網の構築（企業努
 力）。

- ・エコポイントを始めとした需要喚起施
 策の積極導入誘導（業界努力）。
4. ・環境配慮型商品…エコカラット（調湿
 健康建材）、サーモタイル（断熱床タイ
 ル）、SATIS（節水シャワートイレ）。
 ・付加価値追求商品…CLシリーズ（浴
 室・キッチン・洗面・トイレ）ナビッシ
 ュ（全自動キッチン水栓）、REGIO
 （最高級シャワートイレ）。
 ・リフォーム向け商品…リノビオ（浴
 室）、リトイレシリーズ（トイレ）、PA
 SSO（便座シャワートイレ）、オール
 インワン（キッチン浄水栓）。

伊予木材株式会社

建材部次長 森 憲一氏

1. (1) ー：横這い。
 (2) 2009年中の着工数と大同小異か？
 住宅減税、相続税等の政策、住宅エコポ
 イントの導入などが功を奏すか疑問が残
 る。
2. 80万戸。
3. ネット販売の拡売、DIY店の台頭によ
 り、住宅資材の商流は徐々に変化し始め
 ている。従来通りの取り組み方では市場
 からはじき出されるのは必至である。単
 品の安売り競争に巻き込まれない商売の
 やり方（施工絡み、付加価値の付け方）
 を模索していくことが望まれる。
4. エコ商品、リフォーム市場に如何に
 くい込めるか。木材（ムク商品）に再
 度取り組むべき。

院庄林業株式会社

代表取締役 豆原 直行氏

1. (1) ー：横這い。
 (2) 新築より改造が増加すると思われる。

2. 80万戸。
3. ①国産材の樹皮の用材化。
②パレットの用材化。
③小径木、曲り材（切り捨間伐材）の用材化。
4. ①国産松の梁桁（ムク及びEW）。
②杉の内装材（和用から洋風への変化）。

永大産業株式会社
取締役専務執行役員
営業本部長 大道 正人氏

1. (1) ×：悪化。
(2) リーマンショック以降、雇用、給与・賞与カット、設備投資の抑制、そして円高、デフレによる価格破壊等が急速に進み、2010年はこの影響をさらに受け、デフレがスパイラル化していく。そして円高は更に進み、国内市場はどんどん縮小化していく。現政策のまま進行すれば景気は更に悪くなると見ている。
2. 80万戸。
3. 弊社はすでに環境創造型企業として、来る循環型社会に貢献すべく様々な取り組みをしています。国産間伐材活用、3.9活動、植林木の基材化、パークティクルボードによるリサイクル化等々。今後の課題としては、COP15で提案すらされなかった「炭素の固定化」を如何にアピールしていくか、主張していくかがポイントとなります。木材の有効活用こそがCO₂削減の一番の近道であることを訴求していきたい。
4. 国産杉材の圧密フローリング…国産材を圧密化することにより、耐凹み・耐キャスター性能を向上させる。そして国産材比率を上げ、更に環境に貢献する。
鏡面ドア、鏡面クロゼット製品の発売
リーズナブルな価格で高い意匠性、高い品質、高い性能を有した鏡面製品を発売。

櫻井木材株式会社

管理室 室長 中島 芳之氏

1. (1) —：横這い。
(2) デフレ経済下の現況は、益々競争激化に陥り、企業の不安要素は増して、雇用情勢悪化が景気を一段と下げる為、今年の前半は現在より冷え込みが厳しくなるが、後半は一部業種からの回復でその影響力を期待出来る。
2. 80万戸。
3. 認証材の普及と国内森林事業の活性化を図る取り組みが必要。CO₂削減には我々業界が大きく寄与する機会が増えると思われる。樹脂・鉄からの代替材として「木材」を積極的に働き掛け、使用者側、顧客先を巻き込んだ取り組みが重要かと思えます。
4. 1. 中古住宅・マンション流通業…「リフォーム」「リノベーション」による安心住宅。
2. リフォーム関連商品…「バリアフリー製品」「オール電化」「太陽光発電システム」

サンウエーブ工業株式会社

執行役員販売企画部長 秋葉 伸之氏

1. (1) —：横這い。
(2) リーマンショック直後の全く先の見えなかった時に比べれば、「最悪期は脱した」感はあるが、回復の確実な根拠が見当たらない中での雇用悪化・不安、デフレによる悪循環があり、景気押し下げ感が強い。住宅版エコポイント、住宅取得資金贈与の非課税特例などの住宅関連景気浮揚策を政府が打ち出しているので期待感があるが、回復の決定打とはいいがたく、期待しつつも横這いと予想する。
2. 78万戸。
3. 環境負荷低減に向けた全社的な取り組み

は勿論のこと、住宅設備機器メーカーとしては、製品に使用する材料・部品の調達から機能機器の開発・選定等、多岐に渡るサプライヤーとの協業が重要な課題になっています。3R(リデュース・リユース・リサイクル)やグリーン購入の視点を折り込み、商品の機能・性能面でエコを追求することで、お客様に新たな価値を提供できると考えています。

4. 2009年8月に発売したスマートシステムキッチン「サンヴァリエ<アミイ>」。「サンヴァリエ<アミイ>」は、Pittoでおなじみの「パタパタくん」を搭載し、シンプルなデザインと実用的な使いやすさを充実。また、インテリア性と使いやすさを両立させたコンポーネント洗面化粧台「サンレソナ」シリーズ。キッチンとのカラーコーディネートも可能でセットでの提案を推進します。

ジャパン建材株式会社

営業企画部長 木川 滋生氏

1. (1) ○：やや回復。
(2) 政権交代により、住宅よりも介護、医療福祉、子育て等、ソフト面での支援に傾いており、雇用も安定しない事から2010年も住宅エコポイントの影響で多少経済も回復すると思うが、ほとんど2009年と変化は無いと考えます。
2. 80~85万戸。
3. 長期優良住宅に代表される高品質の家造りに対し、良質で付加価値の高いシステム商品を提案していける事が重要と考えます。また、国をあげての温室効果ガスの排出量の削減、更にキャップ&トレードの導入も東京都で2010年4月からスタート予定になっています。弊社としても環境配慮型商品の提案、拡販を進める事が環境にも自社の業績にも貢献出来る大きなチャンスと考

えます。

4. 国が設置を推進している太陽光発電、高効率ガス給湯システム、オール電化商材、高性能断熱材、更に弊社として2010年は森林認証材の拡販にも重点を置いていきたいと思っています。

株式会社ジューテック

住宅情報室 室長 清水 英雄氏

1. (1) ○：やや回復。
(2) 行政の経済対策に期待。住宅版エコポイントでは少ないが、ほかに期待。
2. 90万前後、年度計。
3. CO₂、25%削減目標で省エネ事業を推進することが方向性です。断熱材では次世代基準が普及する方向ではないかと思えますし太陽光発電や高効率給湯機を相当量やらないとCO₂削減目標の達成が厳しくなると考えています。世界的問題ですのでそこにビジネスチャンスが在ると考えています。
4. 環境配慮商品の推進。当社は2009年に自社で認証商品取得。合板・木質ボードでFSCやPEFCのCOC認証を取得、商品の拡販展開を予定。太陽光発電、エコ給湯、オール電化商品等の環境配慮商品や省エネ商品で事業推進。

大建工業株式会社

取締役常務執行役員 億田 正則氏

1. (1) △：やや悪化。
(2) 円高により、輸入資材のコストダウンは見込まれるが、事業見直しによる公共投資減少に伴い、建設関連業界は全般的に冷え込むと思われる。また、長期視点での政策より短期対策優先の観があり、消費マインドの低下に歯止めがかかるとは難しい。
2. 85万戸程度。

3. 消費者への環境配慮製品の認知、資源の有効活用とリサイクルが課題。2010年は住宅版エコポイントが始まるなど、環境負荷低減に向けた取り組みや支援策が本格化していく。こうした支援策とあわせて、「環境に配慮した」製品をわかりやすく提案し、消費者の満足度と環境配慮への意識を高めしていくことが重要と考える。
4. 『環境』をキーワードとして、資源を有効活用したダイライト、インシュレーションボード等のエコ素材及びエコ台板フローア（森を守る床材）。『ライフスタイル対応』としてペット共生商品群。『リモデル拡大』に向けて“TDYグリーンリモデル”への推進注力。

東洋プライウッド株式会社

取締役社長 須藤 圭一朗氏

1. (1) ー：横這い。
2. 80万戸
3. 環境をどうコストに反映していくかが課題。当社としてもビジネスチャンスとして、環境をとらえ、FSC-COC認証材（フロア台板）へ切替、国産材を利用したフロア台板の使用、ファルカタ等の植林材を利用した商品へ全品切替えを図る。
4. ・シストSシリーズ（建具、収納建具、階段）。
 ・シストS（シート床）。
 ・シストS+ワン（ペット対応用床材）。

南海プライウッド株式会社

取締役執行役員 営業部門担当 玉置 康洋氏

1. ー：横這い。
2. 最大80万戸。
3. インドネシア 植林事業（ファルカタ）拡大による同基材の調達増加によって主力製品となる収納材の拡販が環境負荷低減に

も貢献していくと考えています。

4. ファルカタ基材を中心とする収納材。

ニチハ株式会社

取締役専務執行役員 営業本部長 新美 義根氏

1. (1) ○：やや回復～横這い。
 (2) 中国、インドを中心とした世界経済の復調傾向に乗り、回復していくが、その動きは遅いと思われます。
2. 80～85万戸。
3. “サステイナブル建材”を業界全体で実現するべく、リサイクルを目的とした商品、使用素材の規格の統一化、業界でのリサイクルシステムの構築、普及、促進が重要と考えます。また、これらの取り込みと環境負荷低減度合いを一般ユーザーへPRする事も同様に重要と考えます。
4. 全てマイクロガード（＝超親水防汚機能）化される中厚サイディング。“光と影”をテーマに従来のサイディングとは一線を画した“風光（HOOKOU）”。耐震性を高める外装下地耐力面材「あんしん」、内装下地耐力面材「あんしんN」。

株式会社ハウステック

執行役員営業推進本部長 五十嵐 稔氏

1. (1) ー：横這い。
 (2) 各種税制優遇に加え、住宅版エコポイント制度も実施されるが、個人の消費意欲が一向に回復しない中では、効果も限定的で、09年並みに推移すると考える。
2. 80万戸。
3. 「長期優良住宅」、「省エネ住宅」をキーワードに、引き続きオール電化、高断熱住宅が堅調に推移するものと思われる。事業仕分けにより補助金枠の縮減も予想されるが、流通コストの見直し等で、価格対応力を持つことで、まだまだビジネスチャンス

は十分に残されているものと考えてる。

4. 業界で最小サイズの家庭用合併浄化槽。下水道普及がほぼ頭打ちの中、水環境の大きな問題である、既設単独処理浄化槽からの入れ替え需要（合併化）に対して積極的な営業展開を図る。

ヤマハリビングテック株式会社
取締役営業統括部長 橋山 基男氏

1. (1) ー：横這い。
(2) 住宅政策を含めた政府景気対策は一定の効果が期待できるものの、依然として消費者の雇用、所得への不安により、消費マインドは高まらず横這いと見ております。
2. 80万戸前半。
3. 環境対応を含めた住宅の質的向上が業界を挙げての課題と認識している。
CO₂削減に直結する太陽光発電や燃料消費形態の変化に加え、木材の積極利用による植林効果、循環型住宅の一般化など変化が予想される。
そんな中で消費者の環境意識が更に高まり、付加価値追求型から純粋価値追求型への変化対応力が課題となっている。節約志向、部分最適、ロングライフ対応といった消費行動の変化にあわせた顧客目線での商品、サービスの供給を通じてビジネスにチャンスが広がると捉えている。
また、工場での廃材やプラスチックの再生、再利用の開発、普及においてもビジネスの可能性が大きいと考えている。
4. 消費者の節約志向や長寿命志向が継続する年と位置づけ、安価で手軽にリフォーム需要を喚起できるポイントリフォーム（キッチンの必要部分のみ交換するリフォーム）のような顧客創造型のビジネスの仕組みを提案していきたい。

併せて弊社がお客様からご評価いただいているリニューアル性に富んだシステムキッチンや、断熱性が高く、お手入れが簡単なシステムバスルームに重点おいてリフォーム需要を掘り起こしてまいりたい。

吉野石膏株式会社
常務取締役 神崎 誠一氏

1. (1) ○：やや回復。
(2) 住宅及びリフォームの潜在需要は団塊ジュニアを含め多いが、雇用、長期間に渡るローン返済、そして老後の手当て等の不安がのしかかり着手できないのが現況。一方贈与税非課税枠の拡大、太陽光発電への補助、住宅の長寿命化や環境対策になるリフォームへの補助金等の対策も打たれているが、住宅取得マインドに火をつけるには至らないと思われる。期待感を含めてやや回復とみる。
2. 85±5万戸。
3. 今年是一段と太陽光発電の設置が多くなるだろう。基本的には断熱をいかにするかが重要であろう。石膏ボードは防火性、遮音性の他に断熱性能にも優れており、より厚手化した（9.5mm厚よりも12.5mm厚、15mm厚）ボードを広めたい。一方、石膏ボードの新築端材の回収、再資源化はかなり普及したが解体時に出てくるボード廃材の再資源化、再利用の一層の促進を図っていく。
4. ①室内環境については特にホルムアルデヒドを吸収・分解する優れた性能をもつハイクリーンボード（硬質石膏ボード）。
②階床音対策としてTSHを用いた床遮音システム。
③耐久性に優れ意匠を選択できるデラクリートを用いた外壁材の普及。

2010 年頭所感

〈掲載順不同〉



必要な住宅の活性化 などによる内需拡大

国土交通大臣
前原 誠司

昨年は、多くの国民の皆さまのご支援をいただき、政権交代の実現を果たしました。これにより、政治や行政のシステムが大きく転換し、国政のあり方も大きく変わろうとしています。私も、昨年9月より国土交通大臣を拝命し、山積している課題の解決に向け、全力を挙げて取り組んできたところです。国土交通省としては、本年も引き続き、社会資本の整備や交通政策の推進などを通じて我が国が抱える課題等へ対応してまいります。

さて、国土交通行政に取り組むに当たっては、我が国が抱える三つの主要な不安要因について直視する必要があります。

第一に、2004年をピークとして人口減少が進行していることです。出生率を1.37とすると、平均して毎年90～100万人の人口が減り続けるということであり、我々にとって大きな不安材料の一つとなっています。

第二に、諸外国が経験したことがないような急速な少子高齢化が進んでいることです。少子高齢化が今のペースで進むと、2050年には65歳以上の人口比率は40%を超えるとされています。現在、5人に1人が65歳以上という人口比率となっておりますが、2050年には5人に2人以上となり、15～64歳までの生産年齢人口についてみれば、現在の約64%から2050年には51%になると言われています。当然ながら、若い人達の負担が増え、これからリタイアをして、社会保障の恩恵を被

ろうという世代の方々のサービスが低下していくこととなります。そうした意味で、この少子高齢化・人口減少というものが、我々国民の大きな不安材料としてのし掛かっています。

第三に、我が国のGDPの約1.7倍の規模になる長期債務を抱えていることです。これは欧米等の先進国と比べても突出した規模になります。

このような我が国の現状を踏まえれば、国民の皆様からお預かりをしている税金の使い道を大きく変えていかなければなりません。このため、従来の公共事業依存型の産業構造を転換し、我が国を牽引する成長産業の育成を図るため、国土交通行政のパラダイムシフトを行ってまいります。

国土交通省の成長戦略

将来にわたって持続可能な国づくりを進めるためには、我が国の人材・技術力・観光資源などの優れたリソースを有効に活用し、国際競争力を向上させることが焦眉の急となっています。このため、「財政に頼らない成長」の実現を基本に、国土交通行政に関する成長戦略を早急に策定するために国土交通省成長戦略会議を立ち上げ、我が国の成長の牽引力となるような産業の育成に率先して取り組んでおります。

人口減少・少子高齢化・財政赤字という制約要因のなかで、社会資本の維持・更新を着実に進めていくため、民間の資金・経営能力・技術的能力を活用した社会資本整備を行っていく仕組み、新たな時代にあったPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の手法を取り入れていきます。

内需主導の経済の安定的な成長のためには、住宅・不動産市場の活性化等による内需の拡大が必要です。最近の住宅着工戸数は昭和40年頃の水準まで落ち込んでいますが、1400兆円にも上ると言われる個人の金融資産を動かす仕組みとして、新築、リフォームを問わず、住宅投資を活性化させるとともに、広く内外の資金を市場に呼び込むことが重要

だと考えております。また、機能的で魅力ある都市整備への民間資金の流れの円滑化等を通じ、不動産市場の活性化を図ることも重要と考えております。

景気回復への取組み

現下の厳しい経済・雇用状況、直面する円高・デフレ状況を踏まえ、景気回復を確かなものとするために先般取りまとめられた「明日の安心・成長のための緊急経済対策」では、住宅版エコポイント制度の創設、住宅金融の拡充、住宅税制の改正等による住宅投資活性化のための支援、建設企業の成長分野展開支援、下請建設企業の経営を支えるための金融支援等、国土交通省関連の施策が盛り込まれました。今後、対策に盛り込まれた施策が一日も早く実効性を挙げるよう取り組んでまいります。



「緑の産業」を地域 経済の成長の柱に

農林水産大臣
赤松 広隆

新年を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

国土の3分の2を占める森林は、緑豊かな美しい国土の形成・保全に寄与しているのみならず、地球温暖化の防止、水源のかん養など多面的な機能の発揮を通じ、「緑の社会資本」として広く国民に恩恵をもたらしております。

特に、地球温暖化の防止については、京都議定書第一約束期間における6%の削減目標のうち3.8%分を森林吸収で確保するため、間伐などの森林整備を着実に推進することが重要となっております。

また、川下に目を転じると、木材輸入の先行きが不透明となる一方で、国産材需要の高まりが見られるなど、木材の需給をめぐる状況は国の内外で大きく変化してきております。このような、木材自給率を高める絶好の機

会を逃さず、国産材の利用拡大に積極果敢に取り組んでいくことが重要となっております。

こうした状況を踏まえ、農林水産省は、森林における路網の整備、森林施業の集約化、必要な人材の育成により、森林施業の効率化を図ってまいります。同時に、国民生活のあらゆる場面で、間伐材をはじめ国産材が利用されることになるよう、品質・性能の確かな木材製品を安定的に供給するシステムの構築、公共建築物や住宅分野などにおける国産材の利用拡大、木質バイオマスの利用促進にも取り組んでまいります。

また、国際社会と連携・協力しながら、森林における生物多様性の保全や、途上国の森林減少・劣化に由来する温室効果ガスの排出を抑制するための森林保全、違法伐採対策などに取り組みます。特に、生物多様性の保全については、本年10月に生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が名古屋で開催されることとなっております。この会議において、我が国が議長国として主導的な役割を発揮できるよう、国内においても積極的に施策を推進してまいります。

治山については、近年、局地的な豪雨や地震の発生に伴い山崩れなどの激甚な山地災害が発生していることから、国民の安心・安全を確保するための対策を講じてまいります。

国土の保全上重要な奥地脊梁山脈や水源地域に位置し、国民生活にとって重要な役割を果たしている国有林野については、国が責任を持って管理する必要があることから、国有林野事業の一般会計化について早急に検討してまいります。

農林水産省は、森林の多様な機能を最大限に発揮させつつ、林業・木材産業など「緑の産業」を地域経済の成長の柱とするために、必要な施策に全力で取り組んでまいります。

本年も一層の御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の御多幸と御健勝を祈念して、年頭の御挨拶といたします。

平成21年11月の新設住宅着工

△は減

		11月					10月	9月	平成21年 8月
		対前月比		対前年同月比					
		(戸)	(%)	(戸)	(%)				
新設住宅計		68,198	1,078	1.6	△ 16,079	△ 19.1	67,120	61,181	59,749
建築 主別	公 民	2,153	40	1.9	1,113	107.0	2,113	1,117	1,671
	共 同	66,045	1,038	1.6	△ 17,192	△ 20.7	65,007	60,064	58,078
利用 関係別	持 家	25,441	214	0.8	1,942	8.3	25,227	24,501	25,147
	貸 家	29,508	1,870	6.8	△ 10,013	△ 25.3	27,638	23,179	22,141
	給 与 住 宅	572	△ 635	△ 52.6	△ 167	△ 22.6	1,207	874	191
	分 譲 住 宅	12,677	△ 371	△ 2.8	△ 7,841	△ 38.2	13,048	12,627	12,270
資金別	民 間 資 金	59,191	1,211	2.1	△ 17,527	△ 22.8	57,980	54,017	52,507
	公 的 資 金	9,007	△ 133	△ 1.5	1,448	19.2	9,140	7,164	7,242
	公 営 住 宅	1,642	209	14.6	933	131.6	1,433	834	915
	住宅金融機構融資住宅	4,000	10	0.3	563	16.4	3,990	3,384	3,130
	都市再生機構建設住宅	0	0	—	0	—	0	8	417
	その他の住宅	3,365	△ 352	△ 9.5	△ 48	△ 1.4	3,717	2,938	2,780
構造別	木 造	40,782	1,837	4.7	△ 1,319	△ 3.1	38,945	36,410	34,757
	非 木 造	27,416	△ 759	△ 2.7	△ 14,760	△ 35.0	28,175	24,771	24,992
	鉄骨鉄筋コンクリート造	410	193	88.9	△ 126	△ 23.5	217	366	389
	鉄筋コンクリート造	12,173	△ 1,877	△ 13.4	△ 11,186	△ 47.9	14,050	12,664	12,083
	鉄 骨 造	14,708	963	7.0	△ 3,412	△ 18.8	13,745	11,659	12,369
	コンクリートブロック造	52	13	33.3	28	116.7	39	37	44
	そ の 他	73	△ 51	△ 41.1	△ 64	△ 46.7	124	45	107

プレハブ新設住宅戸数 —構造別・利用関係別—

構造別	戸	対前月比		対前年同月比		利用関係別	戸	対前月比		対前年同月比	
		(戸)	(%)	(戸)	(%)			(戸)	(%)	(戸)	(%)
合 計	11,781	575	5.1	△ 430	△ 3.5	持 家	4,807	377	8.5	663	16.0
木 造	1,232	135	12.3	△ 59	△ 4.6	貸 家	6,691	491	7.9	△ 940	△ 12.3
鉄筋コンクリート造	232	△ 282	△ 54.9	6	2.7	給与住宅	27	△ 75	△ 73.5	△ 29	△ 51.8
鉄骨造	10,317	722	7.5	△ 377	△ 3.5	分譲住宅	256	△ 218	△ 46.0	△ 124	△ 32.6

枠組壁工法（ツーバイフォー）新設住宅戸数 —利用関係別—

利用関係別	合計	対前月比		持家	対前月比		貸家	対前月比		給与 住宅	対前月比		分譲 住宅	対前月比	
		対前年同月比			対前年同月比			対前年同月比			対前年同月比				
		戸	%		戸	%		戸	%		戸	%			
木造	9,497	455	5.0	2,489	△ 124	△ 4.7	5,924	635	12.0	11	△ 1	△ 8.3	1,073	△ 55	△ 4.9
		△ 1,244	△ 11.6		107	4.5		△ 1,095	△ 15.6		8	266.7		△ 264	△ 19.7

19.1%減の6万8,198戸

11月の新設住宅着工

国土交通省がまとめた平成21年11月の新設住宅着工数（上表参照）は前年同月比19.1%減の6万8,198戸で12カ月連続の減少、前月比では1.6%増、戸数にして1,078戸のプラスとなり3カ月連続で上向き、季節調整済み年率換算値も79万8,000戸となった。

利用関係別では、持ち家は前年同月比8.3%増の2万5,441戸で14カ月ぶりに増加したが、貸家は同25.3%減の2万9,508戸、分譲住

宅は同38.2%減の1万2,677戸でともに12カ月連続のマイナス、分譲住宅のうちマンションは同63.7%減の4,329戸で11カ月連続の減少、戸建ては同1.5%減の8,326戸で14カ月連続減だった。

地域別では、首都圏が同21.6%減、中部圏が同29.9%減、近畿圏が19.8%減、その他地域も同12.1%減と全地域で持ち家を除いて2ケタの減少となった。

工法別では、プレハブが同3.5%減の1万1,781戸で13カ月連続減、2×4は同11.6%減の9,497戸で12カ月連続マイナスだった。



2010年
迎 春



 <p>愛日木研株式会社 名古屋港区藤前三一三〇一</p> <p>代表取締役社長 野原英俊</p>	<p>ASAHO</p> <p>株式会社 アサノ</p> <p>大阪市中央区西心斎橋 一丁目十二番十三号</p> <p>代表取締役社長 浅野敏行</p>	<p>WODTEC</p> <p>海堀芳樹</p> <p>朝日ウッドテック株式会社 大阪市中央区南本町四一五十一</p> <p>代表取締役社長</p>	 <p>アサヒ建材株式会社 東京都文京区湯島一丁目一六 (中ビル)</p> <p>代表取締役社長 細野秀雄</p>
<p>AT ASAHI TOSTEM</p> <p>旭トステム外装株式会社 東京都江東区毛利一十九一十 江間忠錦糸町ビル六階</p> <p>代表取締役社長 真田進也</p>	<p>FIBER GLASS</p> <p>旭ファイバーグラス株式会社 東京都千代田区神田鍛冶町三二一八一三 神田三菱ビル八階</p> <p>代表取締役 狐塚 章</p>	 <p>株式会社 井 桁 藤</p> <p>名古屋市中区大井町三番十五号</p> <p>代表取締役 高山 忠</p>	 <p>伊予木材株式会社 愛媛県大洲市徳森二四一六</p> <p>代表取締役 井関和彦</p>

社名50音順



2010年春
迎



	<p>代表取締役</p> <p>豆原 直行</p> <p>院庄 林業株式会社 岡山県津山市二宮三二一</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>中本 祐昌</p> <p>株式会社ウッドワン WOODONE 住友産業グループ 広島県廿日市市木材港南一番一号</p>	<p>取締役社長</p> <p>市川 英治</p> <p>江戸川木材工業株式会社 東京都江東区新木場一三一一六</p>
<p>代表取締役社長</p> <p>鴻池 正幸</p> <p>大倉工業株式会社 香川県丸亀市中津町一五一五</p>	<p>代表取締役</p> <p>山田 稔</p> <p>OTA 太田ベニヤ株式会社 大阪府浪速区桜川二丁目七番二号</p>	<p>代表取締役</p> <p>大塚 哲夫</p> <p>大塚住宅建材株式会社 OSUSKA 新潟市中央区上大川前通四一三十七</p>	<p>代表取締役</p> <p>加藤 勇夫</p> <p>加藤ベニヤ株式会社 東京都豊島区南池袋一三三二四</p>
<p>代表取締役社長</p> <p>亀田 嘉春</p> <p>亀田合板株式会社 名古屋市中川区昭明町五一</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>北村 良一</p> <p>北 恵 株 式 会 社 大阪市中央区南本町三六一一四 (イトウビル)</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>村石 建治</p> <p>鐵 フトクコーポレーション 大阪府浪速区幸町二一五一三</p>	<p>取締役社長</p> <p>永井 昭雄</p> <p>クロカワベニヤ株式会社 札幌市白石区中央三二一六二〇</p>
<p>代表取締役社長</p> <p>桑澤 嘉英</p> <p>株式会社 クワザワ KUWAZAWA 札幌市白石区中央二条七一一一</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>内海 康仁</p> <p>光和物産株式会社 広島県福山市南本庄 二二二二二七</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>越井 潤</p> <p>越井木材工業株式会社 KOSHI 大阪府住之江区平林北 一一二二一五八</p>	<p>代表取締役</p> <p>小林 恭光</p> <p>小林株式会社 広島市南区翠五二二一七三</p>



2010年
迎 春



<p>代表取締役社長</p> <p>沢田和夫</p> <p>株式会社斎藤材木店</p> <p>東京都足立区保木岡一―三三―三</p>	<p>取締役会長</p> <p>桜井宏史</p> <p>△ 櫻井木材株式会社</p> <p>名古屋市中川区太平通六一―二</p>	<p>sunwave</p> <p>代表取締役社長</p> <p>織田昌之助</p> <p>サンウエーブ工業株式会社</p> <p>東京都千代田区猿楽町二―六―一〇</p>	
<p>代表取締役社長</p> <p>藤木正和</p> <p>三協立山アルミ株式会社</p> <p>富山県高岡市早川七〇</p>	<p>代表取締役</p> <p>加藤秀司</p> <p>株式会社 サンコー</p> <p>名古屋市中川区上高畑二丁目三三番地</p>	<p>SANNO GROUP</p> <p>代表取締役</p> <p>春 忠弘</p> <p>三王ハウジング株式会社</p> <p>新居浜市阿島一―五―三五</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>井 上 六 郎</p> <p>株式会社 J S P</p> <p>東京都千代田区丸の内 三丁目四番二号</p>
<p>取締役社長</p> <p>山川芳範</p> <p>Janis ジャニス工業株式会社</p> <p>愛知県常滑市唐崎町二丁目八八番地</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>大久保清</p> <p>ジャパン建材株式会社</p> <p>東京都江東区新木場一―七―一二 新木場タワー</p>	<p>取締役社長</p> <p>峯村 榮</p> <p>株式会社住宅あんしん保証</p> <p>東京都中央区八重洲二丁目六番六号 八重洲センタービル7F</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>足立建一郎</p> <p>株式会社ジューテック</p> <p>東京都港区芝五丁目二十六番二十四号 東京機械本社ビル五階</p>
<p>代表取締役社長</p> <p>末久泰朗</p> <p>城東テクノ株式会社</p> <p>大阪府枚方市招提田近三一―十五</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>松 田 賢</p> <p>株式会社スペースパーツ山形</p> <p>山形県寒河江市中央工業団地 一―五五番地六</p>	<p>代表取締役社長</p> <p>古川康則</p> <p>株式会社 住 協</p> <p>茨城市島四丁目二―番二五号</p>	<p>取締役社長</p> <p>矢野龍</p> <p>住友林業株式会社</p> <p>東京都千代田区大手町二丁目三番二号</p>



2010年春
迎



代表取締役

矢木 弘

株式会社 仙建

仙台市宮城野区扇町五丁目九番十二号

取締役社長

安田 敏男

住友林業クレスト株式会社

東京都千代田区神田錦町三丁目二十六番地
一ツ橋Sビル

取締役社長

須藤 圭一朗

東洋プライウッド株式会社

愛知県名古屋市中区錦三丁目十番三十三号
錦Sビル

私共は本年3月末(予定)事業統合致します



代表取締役社長

竹内 成豊

タック・ハイテクウッドグループ
名古屋市中区正木四丁目二番三十一

取締役社長

澤木 良次

アモニティデザイン



大建工業株式会社
大阪市北区堂島一丁目六二番
堂島アバンザ

代表取締役社長

田中 宏武

大紀工業株式会社

大阪市住之江区平林南一丁目五番五四号

代表取締役社長

及川 秀雄



第一産商株式会社

東京都江東区深川一五十一木材会館

代表取締役社長

初 好章

東京ベニヤ株式会社

東京都江東区富岡二丁目八番十一号

代表取締役社長

津田 潮



津田産業株式会社

大阪市住之江区平林南一丁目八番一九号

代表取締役

堀川 保幸

中国木材株式会社

呉市広多賀谷三一一

代表取締役社長

中井 康夫



株式会社 チューオー

栃木県鹿沼市さつき町一三一一

代表取締役社長

野間 慶政

名古屋港木材倉庫株式会社

名古屋市中区加福本通
一丁目十三番地

代表取締役社長

新谷 弘之

東レACE株式会社

東京都中央区日本橋本町2-4-7

代表取締役

西大條 精一

東北木材株式会社

旭川市東八条八丁目

取締役社長

手島 達也



東邦亜鉛株式会社

東京都中央区日本橋本町一六一一



2010年
迎 春



 <p>代表取締役社長 丸山 徹 南海フロンティア株式会社 香川県高松市松福町一丁目十五番十号</p>	 <p>取締役社長 中村 正治 南陽株式会社 富山県高岡市能町七五〇</p>	 <p>代表取締役 坂本 和 南洋建材株式会社 宮古市新川町四一十一</p>	
 <p>代表取締役社長 矢野 邦彦 ニチアス株式会社 東京都港区芝大門一―一二六</p>	 <p>代表取締役社長 井上 洋一郎 ニチハ株式会社 名古屋市中区錦二丁目十八―十九 三井住友銀行名古屋ビル</p>	 <p>代表取締役 西村 馨 株式会社ニハイ 札幌市西区二十四軒三条 七丁目二十九</p>	<p>会長 井上 篤博 日本合板工業組合連合会 東京都千代田区三崎町二―二十一―二 リーフスクエア本道橋ビル</p>
<p>理事長 吉田 繁 日本合板商業組合 東京都千代田区神田鍛冶町三一五―四 (合板会館)</p>	 <p>代表取締役社長 岩淵 正廣 日本製紙木材株式会社 東京都千代田区二ツ橋一―二―二</p>	 <p>代表取締役社長 國井 総一郎 株式会社ノーリツ 神戸市中央区江戸町93 栄光ビル</p>	 <p>代表取締役社長 星田 慎太郎 株式会社ハウステック 東京都板橋区板橋三丁目9番7号</p>
 <p>株式会社 ひらい 千葉県市原市姉崎七三六―一</p>	 <p>代表取締役社長 八木 誠一郎 フクビ化学工業株式会社 福井市三十八社町三三―六六</p>	 <p>代表取締役社長 只腰 由紀夫 ボード株式会社 東京都新宿区新宿五―四―二</p>	 <p>代表取締役社長 中屋 敷善之助 株式会社 ホクザイ 北九州市小倉北区西港町十五番地</p>



<p style="text-align: center;">代表取締役社長 足立雅一</p> <p>株式会社 マデラ 東京都武蔵野市境二丁目十四番一号 スイング四階</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 三井田 孝嗣</p> <p>MAX マックス株式会社 東京都中央区日本橋箱崎町六一六</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 片方厚夫</p> <p>代表取締役社長 村上ひろみ 株式会社 北洲 本社 宮城県黒川郡栗成町成田九丁目 番地二 本店 北上市北鬼柳三三地利七〇番地</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 宮田 正</p> <p>株式会社 宮盛 秋田県南秋田郡五城目町大川 大川字沖面一九五</p>
<p style="text-align: center;">代表取締役社長 佐藤征吾</p> <p>丸宇木材市売株式会社 東京都江東区亀戸六丁目 五十七番十九号</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役 田伏 敏浩</p> <p>マルコマ株式会社 大阪市西区南堀江二丁目二一六</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 杉山 新</p> <p>マルシン建材株式会社 東京都江東区東陽二丁目四番二十九号</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役 吉川 輝孝</p> <p>吉川ベニヤ株式会社 東京都江東区深川一八〇</p>
<p style="text-align: center;">代表取締役社長 安井孝守</p> <p>株式会社 メイゴー 名古屋市中川区広川町四丁目地先</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 高橋貞夫</p> <p>株式会社 山 大 宮城県石巻市潮見町二番地の三</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 森定保夫</p> <p>ヤマハリビングテック 株式会社 静岡県浜松市西区西山町一三七〇</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 阿部栄次郎</p> <p>レンゴー調査株式会社 東京都中央区日本橋富沢町一〇一四</p>
<p style="text-align: center;">代表取締役 吉田 貞隆</p> <p>株式会社 吉 貞 埼玉県戸田市本町一丁目 二十三番二号</p>	<p style="text-align: center;">取締役社長 須藤 新一郎</p> <p>吉野石膏株式会社 東京都千代田区丸の内三丁目三十一 新東京ビル</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 貝本隆三</p> <p>株式会社 吉 銘 奈良県吉野郡下市町大字新住 一一一八番地</p>	<p style="text-align: center;">代表取締役社長 須藤 新一郎</p>

基礎気密化工法の住まいに欠かせない、
優れた気密性&耐久性を備えた基礎気密材!

気密スペーサー

外張り断熱工法・基礎気密化工法に求められる条件は、基礎と土台を永年にわたって絶縁し続けること。Jotoの『気密スペーサー』は、優れた気密性&耐久性で高気密・高断熱をサポートし、省エネ効果も発揮します。
また、施工性を追求したことでより使いやすくなり、サイズバリエーションの追加で幅広くお使いいただけます。

10mロングタイプで施工性アップ!

10mのロングタイプにすることでジョイント部分の加工の手間を減らし、1m毎に折りたたむ方式を採用することで取り回しと施工性をアップさせました。



SK-1010-L100

140mm幅タイプをラインアップ!

2×4工法における、206・406土台にピッタリの140mm幅タイプを追加。206・406土台にて調整板使用時の不具合を解消しました。従来の102mm幅タイプとあわせて、防湿シートなし・防湿シートありタイプもお選びいただけます。

独自の2条2層構造が、基礎と土台を絶縁!

厚みと凹みが、気密材の経年劣化を防止!

調整板で基礎天端の不陸をしっかりとカバー!

アンカーボルトがささりやすく、緊結力を安定化!



SK-1410-L100

優れた耐水性&耐腐食性で、
水に触れやすく湿気の多い場所に最適!

樹脂製ドア枠

表面が剥がれることのない樹脂一体成型品の本体は、優れた耐水性・耐腐食性能を備えており腐れとは無縁で、浴室廻りや玄関枠などの水に触れやすく湿気の多い場所で効果を発揮します。

住まいのトラブルを未然に防ぐことのできる、永住指向の必須アイテムです。

水濡れに強く腐らず
加工しやすい

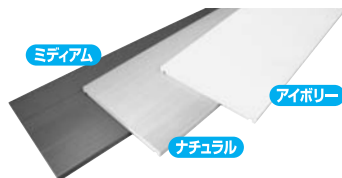
樹脂製ドア枠

水に濡れることの多い浴室前などのドアに最適な樹脂製ドア枠。樹脂一体型ならではの断熱特性が枠部分などの結露を抑え、ヒートブリッジをしっかりと予防。従来のシート加工製品のように表面が剥がれたりする心配がありません。芯材には合板・木質の類いを使用していないため水濡れに強く、水分による劣化の心配もありません。
ラインナップには、下枠と三方枠・四方枠を取り揃えています。



加工しやすいワイドサイズで、
玄関枠や浴室出窓部分に最適!

スーパースライド400



ミディアム

アイボリー

ナチュラル

加工のしやすい幅400mmのワイドサイズの樹脂製ドア枠で、24mmの厚みがあり裏板は不要。耐水性・耐腐食性の高い樹脂一体型のため、湿気が多い玄関枠や浴室の出窓などにも安心してご利用いただけます。



城東テクノ株式会社

本社：〒573-1006 大阪府枚方市招提田近3丁目15番地 TEL.072-868-6611(代) / FAX.072-868-6687
(お八ガキでのお問い合わせは上記住所のA係まで)



本製品に関するお問い合わせは

フリーダイヤル[J]0120-106011



商品や工法、シロアリ補償の詳しい情報につきましては

<http://www.joto.com>

Jotoは、ISO 9001を
認証取得しています。

PEFC-CoC認証フローリング
ECOMESSAGE
 エコメッセージパートナーズ

「地球にも」「人にも」「ペットにも」やさしい。すべりにくく
 愛犬の歩行も快適、傷もつきにくい、お手入れ簡単な「Nグリップシート」を採用。
 人と愛犬と共に暮らせるフローリングです。

防滑性と耐傷性、耐候性、耐汚染性を併せ持ち、ナチュラルな木肌感と手触りをリアルに再現した「Nグリップシート」。

Nグリップシート

- 特殊防滑コート
- オレフィンシート



PEFC-CoC認証合板

※PEFC認証タスマニア産ユーカリを70%以上使用しています。

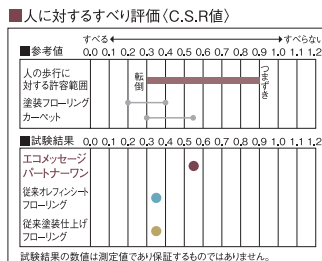
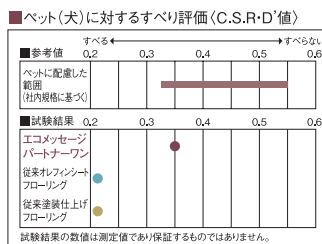
- | | | |
|------------|--------|----------|
| 防滑性 | ペット対応 | 凹み傷 |
| 耐すり傷 | 耐汚染 | ノンワックス |
| 耐候性 | 耐アンモニア | 耐水加工 |
| 耐ヒビ割れ | 耐摩耗 | 床暖房 仕上げ材 |
| ホットカーペットOK | 抗菌加工 | |

★★★★ 低VOC



すべりにくいので
 人とペットにおすすめ

Nグリップシートを採用し、人と犬のすべりにくさを考慮したすべり抵抗値を実現。



試験結果の数値は測定値であり保証するものではありません。
 出展: 東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル(平成21年度版)

凹み傷に強い

高比重のユーカリ合板の採用で、キャスト付き家具や車イスを使用したり、食器や缶などを落としたときにできる凹み傷に強さを発揮します。



すり傷に強い

Nグリップシートの採用で、イスや掃除機、ペットの爪によるすり傷などがつきにくくなっています。



ノンワックスでお手入れ簡単

Nグリップシートは汚れや傷がつきにくいので、ワックスがけは必要ありません。日ごろのお手入れは拭きだけで簡単にきれいになります。



直射日光に強い

Nグリップシートは直射日光を浴びても退色することがないので、陽の光をたっぷり取り込めます。またヒビ割れもありません。



トイレ・サニタリーに使える

アンモニアや漂白剤に強く、R溝にもフィルムがあるので溝からの尿などの水分の浸入を軽減します。



床暖房や
 ホットカーペットも
 安心して
 使えます

木肌感が
 いつまでも
 続きます

木を活かし、よりよい暮らしを

EIDAI

www.eidai.com

EIDAIショールーム 営業日、営業時間はショールームにより異なりますので、事前にご確認のうえお越し下さい。

- | | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 札幌 011-879-5746 | 新宿 03-3349-1971 | 梅田 06-6346-1011 | 沖繩 098-864-2810 |
| 新潟 025-382-3311 | 金沢 076-252-5302 | 岡山 086-241-7641 | |
| 仙台 022-782-1788 | 名古屋 052-354-4310 | 広島 082-278-7110 | |
| 静岡 054-237-8372 | 京都 075-623-0294 | 博多 092-641-6036 | |

お客様相談センター

☎0120-685-110
 E-mail: cs@eidai-sangyo.co.jp
 受付時間 平日 9:00~19:00
 土日祝 9:00~18:00
 休業日 年末年始